

陳情署名結果

私たちの陳情が市議会にて採択されました！！

みんなで取り組みました陳情『子どもたちに輝く瞳を。希望に満ちた未来を。 - 浦安市の保育制度の拡充を求める陳情 - 』は 12 月議会でも継続審査になりましたが、3 月議会にて全会一致で全項目採択されました！！短い期間で、署名は保育園 7 園と学童 2 クラブで 3252 筆も集約できました。皆様のご協力ありがとうございました。

要望項目

1. 保育園が足りません。待機児解消と定員超過入所を解消するために、早急な保育所の増設と緊急保育 5 ヶ年計画の前倒し実施を求めます。
2. 保育料の負担が大変です。保護者負担を軽減する措置を実施すると共にリストラや失業で窮地に追い込まれた保護者に対する保育料減免措置を年度途中から実施してください。
3. 労働形態が多様化しています。必要な正規職員を確保した上で保育時間の延長してください。
4. 保育士の負担が過重です。保育水準の維持のために正規職員を増やすとともに、常勤保育士の総数の割合は最低基準の定数の 8 割以上にしてください。
5. 給食は重要な保育の一環です。アレルギーに対応した園内調理での完全給食を継続し、民間委託は行わないでください。
6. 3 才児クラスでの職員配置基準を見直してください。
7. 男性保育士は父母間で大変好評です。全園で配置してください。
8. 保育園への地域ボランティアの導入と、小中学校の生徒との交流を積極的に進めてください。
9. 今後の保育所の新設に当たっては、安易な運営費削減を目的とした営利企業への委託ではなく、浦安市または社会福祉法人で運営を行ってください。
10. 学童保育は法制化されたものの公的責任があいまいで、施設や指導員の最低基準が不明確な問題があります。今後の学童保育需要に対応した施設の整備と、指導員の質向上のための施策を実施してください。

11. 今後の保育施策の企画立案・実施に当たっては情報公開を行い、市民と保護者の参画と理解を前提に行なってください。
12. 市立保育園と同レベルの保育の質を確保するため、海園の街保育園の施設長は園長経験 10 年以上の正規社員、保育士は経験 5 年以上で 3 年契約の職員を配置してください。
13. 父母会は父母間のコミュニケーションのため欠かすこと出来ない存在です。海園の街保育園に父母会の設置を認めてください。

陳情が議会で採決されても、行政に対して法的強制力がありません。(議会民主制である以上採択は行政に対して努力目標以上のものであるはずですが) 実際、朝 7 時夕方 7 時の延長保育は市議会でも採択されてから実に 7 年の歳月がかかっています。今年 4 月から実施される産休明け児の延長保育でも、97 年に採択された請願の要望として出されており実現に 6 年もかかっています。その実現に向けては、毎年行なっている対市交渉等々の行政への働きかけの積み上げが欠かせません。今日の保育環境の向上は、諸先輩方の地道な努力と県や国に対する運動によるものが大きいのではないのでしょうか。

今回の陳情の要望項目の実現には、引き続き行政への働きかけが不可欠です。しかし今回、議会の採択という大きな追い風を受けました。実現に向けてフォーラムはさらなる前進を目指していきます！

～お詫び～

議会陳情署名で、押印に関して父母の皆様そして関係の皆様にご迷惑をお掛けいたしました。この場を借りて謹んでお詫び申し上げます。

文責 岩島克哉 富岡

2002 年度第 4 回浦安保育フォーラム全体会が開かれました

2 月 16 日に開催された全体会では各分科会の 1 年間の活動報告と反省点、次年度への引継ぎ事項などが話し合われました。2002 年度は初の公設民営園(海園の街保育園)の設立問題や市議会への陳情など例年になく精力的に活動した一方で、メンバーの負担感も大きく、フォーラムの存続のためにも活動範囲を狭めてもっと参加しやすくなるようにしてはどうか、という提案もされました。なお、この 2 年間実施した家庭教育学級(2002 年度は「絵本の読み聞かせ方」「子育てについて」)は参加者には好評でしたが、準備の負担が大きい割に参加者が少ないことなどから、2003 年度は開催を見送ることとしました。

保育雑誌『ちいさいなかま』の紹介です！

「ちいさいなかま」をご存知でしょうか。

すでに年間購読されている方、園に設置されている貸し出し用を読んでいる方、存在すら知らなかった方等、様々とは思いますが、あえて紹介させていただきます。

「ちいさいなかま」は100ページくらいの小さいポケットサイズの雑誌ですが、その中には子供に関することが満載されています。まず表紙を開けてみると「僕らは生きる」と題して海外のストリートチルドレンの写真が目に入ります。解説も合わせて見ると、愛情に飢えドラッグで苦しみや痛みから逃れて、それでも子供を産み、そして産まれてきた子供が同じような人生を辿ると言うドラマを見ることが出来ます。胸が重くなるような思いがします。

次のコーナーは子供たちの詩が載っています。詩というよりは独り言やつぶやきのように感じますが、子供たちの心の中が透けて見えるような1ページです。すでにこのページまででジッと物思いにふけるには充分なインパクトです。物思いにふけているとおもいきや、そのまま眠ってしまったこともしばしば・・・。

特集は月別にテーマがあり、そのテーマについて父母の立場から・保育士の立場から・園長の立場から等、各方面から見解や疑問に対する回答などの意見交流が繰り広げられています。テーマが日常生活に密着しているため興味しんしんで読めると同時に、親としての考え方、広くは地域社会での子供たちに対する大人としての対応の仕方で重要視していかなければならない部分をソフトに差し出してくれているように思えます。

読者のページでは、忙しいのに単純になりがちな毎日を送っている私たちにとって、心温まるエピソード・自分を振り返るためのエピソードを沢山見つけることが出来ます。

その他、忙しい主婦には嬉しい「おいしいカンタン朝食メニュー」や親子で楽しむ工作など今すぐ役立つ情報がいっぱい！！いつも朝食メニューを見ては、明日の朝はこれに決まり！と決定しておきながら作ったためしがなく、メニューを溜め込んでいるのは私だけかもしれません。いつ実物化するのやら・・・。

また、絵本や父母向けのほんの紹介なども盛り込まれて1冊の「ちいさいなかま」になっています。常に子供とその環境に目を向け、話題や情報を提供しているこの雑誌を是非購読してみませんか？価格以上の密度の高い物が得られると思います。

この度、見本誌を父母の皆様様に配布いたしますので、是非手にとって一読してみてください。購読方法については父母会外部交流担当までお尋ね下さい。（文責 伊藤咲子 - 東野）

園の先生方からの紹介文

- 子育て真っ最中のお母さん方や保育士からの投稿コーナーもあり、保護者の率直な意見や思いや、また、保育に関する色々な考え方など知ることが出来て、とても良いなと思っています。エピソードなども載っていて、おもしろいです。

日中の保育の中で疑問に思ったことや悩んでいることなどがあった時など、その内容の特集を読み返して改めて考えさせられたり、納得したりすることもあり、とても勉強になります。（A.O.）

- 毎月のちいさいなかまはもちろんのこと、私はなんといっても年に2回くる臨時号が大好きです。（S.U.）

- ちょっとした時間で読める手軽さは子育て中の時間のない時におすすめです。（Y.M.）

- 全国になかまがいるって感じられることってなかなかないですよネ！保育士としても母親としても共感できたり悩んだりでき、ちょっとホッとできます。（K.M.）

（本誌より抜粋）

